

※目標値（H31）内の「延べ」は計画期間（5年間）の合計値
 改善・悪化：改善○，維持△，悪化×，未実施-
 達成度：順調A，要改善B，未実施-

総合戦略の具体的施策

①地域で暮らすためのしごとをつくる

(i)基本目標

江田島市生まれの若者や移住希望者の居住地などとして選択されるため，例え小規模であっても地域で暮らすための「仕事」づくりを推進します。

目標指標	基準値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)
創業・起業の年間件数（件）	3	9	12
農・水産業の後継者・担い手の育成（人）	延べ 2	延べ 6	延べ 8

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 農林業の振興

指標名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
		実績	改善・ 悪化	達成度	
有害鳥獣による農作物年間被害額（千円）	22,585	20,563	○	A	20,000
重要業績 評価指標 (KPI)	<p>《成果と見直し》 防護柵の設置等による防除対策の普及により，減少した。 今後も，侵入防止柵の設置，鳥獣を引き寄せない圃場への環境改善を中心とした総合的な被害対策の取組強化及び加害個体の捕獲の推進について，生産者への啓発を行うなど，支援制度を維持する。</p>				
農業の後継者・担い手の育成（人）	延べ 2	延べ 4	○	A	延べ 5
重要業績 評価指標 (KPI)	<p>《成果と見直し》 野菜と花卉において，各1人ずつ研修生を受け入れた。 新規就農者数は伸び悩んでいるが，実際に就農の際には市内の遊休農地を活用するなど，一定の効果が生まれている。 地域農業の担い手を育成・確保し，地域農業の活性化を図るため，農業系の学校及びハローワークに広報活動を行うなど，新規就農者研修生募集制度の広報活動等に取り組んでいく。</p>				
オリーブ栽培の面積（ha）	22.6	24.6	○	B	35.0
重要業績 評価指標 (KPI)	<p>《成果と見直し》 オリーブ栽培の普及活動により，増加した。 今後，更なる耕作放棄地の増加が見込まれることから，耕作放棄地への植栽を促進するとともに，オリーブによる積極的な拠点づくりを推進していく必要がある。</p>				

■施策② 水産業の振興

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	カキの大規模消費地への年間共同出荷量 (t)	0	0	△	B	3
	《成果と見直し》 平成 25～26 年度のカキの採苗不調等の要因により、ここ 2 年、出荷できていない。 平成 27～28 年度は好調であったため、平成 29 年度に出荷できるカキの量は確保できるものと思われるが、選別作業等にかかる作業に見合った評価が得られないとの生産者の意見もあり、事業継続については、見直しを要する。					
	水産業の後継者・担い手の育成 (人)	0	延べ 2	○	A	延べ 3
《成果と見直し》 国や県の研修制度を活用し、2 人の研修生を受け入れ、平成 28 年度から新規漁業者となる見込みである。 今後、高齢化等により漁業者の減少が見込まれることから、後継者、担い手確保のため、水販協や青年部等の担い手グループの活動を支援していく。						

■施策③ 商工業の振興

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (K P I)	企業立地奨励制度の申請者数 (人)	1	延べ 2	△	A	延べ 5
	《成果と見直し》 平成 27 年度の申請者数は、1 人であった。 新規参入者においては、当制度を受けるにあたり、操業後の新規雇用者の条件がネックとなっているものと思われる (3 人以上・6 か月以上、本市内に在住)。 当該制度の申請者数を増加させるため、本市でなければ起業できない、本市の産業に根差した企業誘致に努める。					
	商工業等振興資金補助金の年間申請件数 (件)	29	20	×	B	39
	《成果と見直し》 若干減少したものの、多ければ良いというものでもない。 市商工会に加入する中小企業者を支援する視点で、今後も継続して取り組んでいく。また、運転資金と設備資金のみでなく、資本形成につながる資金融資への補助をより厚くするなどの検討が必要である。					
	就職相談会の年間来場者数 (人)	30	67	○	A	57
《成果と見直し》 当初は、市主催による求人説明会の開催を計画していたが、市社会福祉協議会と合同で求人説明会を実施したことにより、大幅に増加した。 今後は、実施主体を見直した上で、引き続き取り組んでいく。						

②交流人口の増加を図り、江田島市との「縁」を有する人を増やす

(i)基本目標

来訪経験者などの増加を図り、江田島市に「縁」を有する人を増やすとともに、移住・定住を支援する体制の構築を図り、安心して暮らし続けることができる生活環境の整備を行います。

目標指標	基準値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)
年間総観光客数（万人） ※市内外からの観光客の総数	54	54	69
定住促進策を利用した移住者数（人）	延べ 229	延べ 246	延べ 379

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 観光の振興

重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	体験メニュー数（プログラム）	6	12	○	A	9
	《成果と見直し》 観光協会と協力し、新規体験メニューを開発することができた。 今後は、各体験メニューの効果検証を行った上で、内容を精査し、「体験する観光」の推進に向け、観光協会等と連携しながら、体験メニューの開発に取り組む。					

■施策② 都市基盤の整備

重要業績 評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	市道の整備延長（m） ※市道総延長 281km	単年 218	延べ 1,260	○	A	延べ 1,037
	《成果と見直し》 平成 27 年度において、7箇所を整備を実施した。また、点検において、4箇所を整備計画に追加した。 引き続き、通学路等について、毎年点検し、整備が進んでいない箇所については、計画に沿って整備を実施する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	橋梁の長寿命化更新数（橋） ※橋梁総数 252 橋	単年 2	延べ 6	○	A	延べ 27
	《成果と見直し》 今年度は、計画通りに実施できた。 今後も、計画を基本として実施に取り組む。					

■施策③ 都市との交流・定住の促進

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	体験型修学旅行等の受入人数(人)	単年 1,719	延べ 3,468	○	B	延べ 13,000
	<p>《成果と見直し》</p> <p>営業活動や受入が好評だったことにより、増加した。しかしながら、民泊家庭登録数は伸び悩んでおり、同じ家庭が何校も受けなければならない状況にあるなど、民泊家庭登録数の増加の取組が急務である。</p> <p>このことから、新たな若い家庭の発掘も含め、全市的な取組となるよう意識統一をしていく必要がある。</p>					

③子どもが生まれ、育つ江田島市づくりを進める

(i)基本目標

江田島市の教育や子育てなどの環境づくりを総合的に進めることにより、次代を担う世代の確保を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.47 H24 数値	- ※人口動態統計 において5年毎 に数値を公表	現状より上昇
市民満足度調査の子育て支援サービスの充実の満足度(%)	55.5	56.7	60

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 学校教育の充実

指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)	
		実績	改善・ 悪化	達成度		
広島県「基礎・基本」定着状況調査平均通過率3ポイント以上の教科の割合(%)	57.1	0	×	B	85.7	
重要業績 評価指標 (KPI)	《成果と見直し》 小学校及び中学校ともに全ての教科で目標を達成することができなかった。特に中学校については、国語、理科、英語において県平均通過率を下回る結果となった。 このことから、「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を充実させるなど、授業改善及び学力向上対策が必要である。					
	ふるさとへの愛着を実感した意識調査(中学校2年生)の割合(%)	80.7	87.4	○	A	85
	《成果と見直し》 生活科、理科、社会、総合的な学習の時間等を通して、江田島が好きと実感できるような教育を推進してきた結果、平成27年度における目標値(81.0)を上回ることができた。 今後もふるさと教育を推進していく。					
大柿高校の定員充足率(%)	54.2	61.7	○	A	66.7	
《成果と見直し》 定員120人に対して、生徒数は74名(61.7%)であり、目標値である80名(66.7%)を充足していない。 事業内容を再検討し、より教職員間の連携を図ることができる内容とするなど、定員充足率をさらに引き上げる取組が必要である。						

■施策② 子育て環境の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	一時預かり保育の年間利用者数(人)	778	699	×	B	1,000
	<p>《成果と見直し》</p> <p>平成26年度と比較し減少している。主な理由は、就労要件の緩和(週4日、1日6時間以上から月48時間以上)により、一時預かり保育から入園へと移行したため。今後は、平成31年度までに保育施設の再編整備を行い、受け入れ態勢を拡充させていく。</p>					
	未満児(0~2歳児)の入園率(%)	26.5	33.3	○	A	50
<p>《成果と見直し》</p> <p>平成26年度と比較し上昇している。主な理由は、働く保護者の増加と、受け入れ態勢の整備がなされたもの。今後は、平成31年度までに保育施設の再編整備を行い、受け入れ態勢を拡充させていく。</p>						

④市民満足度が高く、時代に即した「住みたいまち」をつくる

(i)基本目標

これまで暮らしてきた方や新たに移住してきた方が、「住みたいまち」と実感できる市民満足度が高いまちをつくるため、安心・快適に暮らせる地域の機能の充実を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H31)
市民満足度調査の全項目平均割合 (%)	54.6	55.1	60
市民アンケート調査による江田島市への愛着があると答えた割合 (%)	62.5 H25 調査	- ※5年に1回の調査のため	70

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 生涯学習の充実

重要業績 評価指標 (KPI)	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
	公民館類似施設の年間利用回数 (人/回)	3.29	3.47	○	A	3.6
	〈成果と見直し〉 講座等の実施により、増加した。 若年層の参加率向上やリピーターの増加に向け、さらなる公民館の魅力発信に努める。					
	図書館の利用登録者数人口比率 (%)	46	47	○	A	50
〈成果と見直し〉 2館1室の共同企画による「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」の事業や相互貸借制度が市民に浸透したことなどにより、割合が上昇した。 今後も、年齢・世代別及び障害者など利用者に応じた図書館サービスの充実に取り組む。						

■施策② スポーツの振興

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	社会体育施設の年間利用回数 (人/回)	3.53	3.91	○	A	3.8
	<p>《成果と見直し》</p> <p>施設（江田島小学校体育館）の改修工事による代替施設としての利用やイベント時（能美運動公園での出初式等）の駐車場利用等により，大幅に増加した。</p> <p>引き続き，既存スポーツ施設の管理運営体制の強化・見直しの検討とあわせ，設備・備品などの充実を図る。</p>					
	スポーツ少年団（小学生）の加入 比率（％）	24	24	△	B	26
	<p>《成果と見直し》</p> <p>大きな変動はなかった。</p> <p>今後，新規団体の加入は見込み難いため，スポーツ少年団のPRと指導者の養成支援に取り組み，現団体の団員数の増加に努める。</p>					

■施策③ 保健・医療の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	がん検診受診率 (%)	胃 10.7 肺 21.9 大腸 22.1 子宮頸がん 13.3 乳がん 13.7	胃 8.1 肺 15.2 大腸 18.7 子宮頸がん 15.2 乳がん 12.7 ※暫定値	×	B	胃 16.0 肺 24.0 大腸 24.0 子宮頸がん 25.0 乳がん 30.0
	<p>《成果と見直し》</p> <p>集団検診の受診者数の減少により、受診率も低下した。要因の1つとして、夏季の検診実施による高齢者への身体的負担が、受診者数の減少につながっている。</p> <p>受診体制は年々整備しているにも関わらず、受診率は伸び悩んでいることから、今後は受診しやすい体制の整備だけでなく、受診行動につながる市民の意識改革に取り組む必要がある。</p>					
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 (%)	30.6	29.5	○	A	27.0
	<p>《成果と見直し》</p> <p>特定保健指導に重点的に取り組んだ結果、割合が低下した。</p> <p>受診体制は年々整備しているにも関わらず、受診率は伸び悩んでいることから、今後は受診しやすい体制の整備だけでなく、受診行動につながる市民の意識改革に取り組む必要がある。</p>					
	3歳6か月児の虫歯の有病率 (%)	26.6	24.0	○	A	20.0
<p>《成果と見直し》</p> <p>有病率は低下しているが、県平均と比べると高い状態が続いている。</p> <p>今後は、現状より早期（乳児期）に介入していくことで有病率の低下を目指す。</p>						

■施策④ 高齢者福祉・介護の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	居宅サービスの年間受給者数(人)	10,659	10,788	○	B	12,790
	<p>《成果と見直し》</p> <p>対象者の増加は、施設での介護者を減らし、その分、居宅での介護に留めることができたという視点では、成果があったとみることができる。</p> <p>今後も、要介護者の増加が見込まれる中、施設だけでなく、在宅で暮らしていけるよう、重症化の予防に努め、居宅でのサービス利用につなげる。</p>					
	シルバー人材センターの会員数(人)	199	203	○	B	230
	<p>《成果と見直し》</p> <p>当該センターによる新規会員加入の取組により、増加した。</p> <p>市としては、会員数の維持、増加に向け、引き続き当該センターの運営費等を補助することで支援していく。</p>					
	住民主体の介護予防教室数(教室)	0	27	○	A	20
<p>《成果と見直し》</p> <p>総合事業の移行に伴い、介護予防事業の見直し及び住民主体の通いの場の立ち上げへの支援を実施し、介護予防活動を通して地域づくりを行った。それぞれの地域や組織、コミュニティの実情に合わせたアプローチ(動機付け)を行い、個別性を大事に、市民の気持ちに迅速に対応したことで、大きく目標を上回った。</p> <p>介護サービスのひとつとして住民主体の通いの場が必要となるため、引き続き、自助・互助・共助の必要性を啓発しながら、個人の自立支援にも働きかけ、通えなくなった人やまだ参加していない人へのアプローチを行い、住民主体の介護予防活動の場の立ち上げ・継続支援を行う。</p>						

■施策⑤ 障害者福祉の充実

重要業績 評価指標 (KPI)	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
	障害者等の年間相談支援者数(人)	障害者 193 障害児 24	267 29	○ ○	A A	障害者 300 障害児 40
	<p>《成果と見直し》 相談支援事業所数の増加により、相談対象分野が増えたことが市民に認知されたことなどにより、障害者、障害児のいずれも増加した。 今後も、相談支援の取組を継続していく。</p>					
	障害者就労施設等の市からの 年間物品等調達件数(件)	1	1	△	B	5
<p>《成果と見直し》 障害者就労施設等における公費で調達できるメニューが少ないことから、現状維持となった。 今後、公費で調達可能なメニューがあれば、積極的に調達を検討する。</p>						

■施策⑥ 社会福祉の充実

重要業績 評価指標 (KPI)	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
	高齢者等に対する見守り支援活動 地区(地区)	12	12	△	B	17
<p>《成果と見直し》 平成27年度においては、活動地区の拡大を図ることができなかった。 今後は、現在未実施地区への周知を図り、見守り活動地区を拡大させることが必要と考える。</p>						

■施策⑦ 公衆衛生の確保

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	ゴミの総排出量(t)	10,098	9,504	○	A	8,513
	《成果と見直し》 総排出量が減少した中で、刈草等は増加したものの、家庭系のゴミ量は減少するなど、減量化の効果がみられた。 各種補助制度等の活用により、引き続き、ゴミの減量化を図る。					
	ゴミのリサイクル率(%)	6.8	7.3	○	A	7.7
	《成果と見直し》 小型家電リサイクルを始めたことによる資源化量の増加により、リサイクル率が向上した。 各種補助制度等の活用により、引き続き、リサイクル率の向上を図る。					

■施策⑧ 自然環境の保全

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	海ゴミの年間清掃活動(件)	13	16	○	A	20
	《成果と見直し》 漁協、自治会及び関係課と連携した取組により、効率的・効果的に活動することができた。 今後は、県の補助金を活用するなどし、継続的な活動に取り組んでいく。					
	合併浄化槽の設置台数(台)	780	811	○	B	975
	《成果と見直し》 目標とする設置台数(単年39台増)には及ばなかったものの、一定の成果をあげることができた。 今後も、ホームページや広報を通じた補助制度の周知により、設置を促進する。					

■施策⑨ 大規模災害時の危機管理

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	地域防災リーダーの育成(人)	96	147	○	A	246
	<p>《成果と見直し》 防災リーダー育成研修会の実施により、計画的な育成を図ることができた。 引き続き、防災リーダーの増員に向けた継続的な取組を実施する。</p>					
重要業績 評価指標 (KPI)	防災資機材の整備団体(団体)	7	8	○	B	17
	<p>《成果と見直し》 (一社)広島県森林協会の協力により、計画的に整備を実施することができた。 今後は、市単独の取組として、計画的に整備を進めていく。</p>					

■施策⑩ 総合的な消防体制の充実・強化

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	予防救急の普及啓発活動(件)	0	20	○	B	延べ 225
	<p>《成果と見直し》 活動初年度として、20件の活動を実施した。この中で、予防救急講習には181名 (初年度目標150名、以後200名)が受講するなど、目標を上回る成果をあげることができた。 救急件数の減少につながる取組として、今後も事業を進めていく。</p>					
重要業績 評価指標 (KPI)	人口1万人あたりの高齢者に 関係する年間出火率(件)	5.93	5.11	○	A	5
	<p>《成果と見直し》 平成26年度と比較し、減少させることができた。 今後も高齢者住宅訪問を継続実施する。</p>					

■施策⑪ 暮らしの安全確保

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	子ども見守りグループの育成 (グループ)	1	2	○	A	6
	《成果と見直し》 毎年、優良な取組を実施しているグループを1団体ずつ表彰している。 今後も、この取組を市内に広く周知することで、市民の取組意欲と防犯意識の向上に努める。					
	消費者被害防止等の年間啓発 活動(回)	5	5	△	B	7
	《成果と見直し》 計画的に啓発活動を実施することができた。これにより、ある程度市民の中に消費生活相談員の存在が認知され、一定件数の相談も寄せられるなどの成果がみられた。 今後も、市民の身近な相談窓口として機能していくよう、継続的に取り組んでいく。					

■施策⑫ 都市基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	法定外公共物(河川・水路)の 改修補助件数(件)	単年 15	延べ 31	×	B	延べ 75
	《成果と見直し》 目標どおり(平成27年度:16件)の成果があった。 今後、受益者負担による公平性の観点から、制度に課題がないか検証を行いながら、当該補助に取り組んでいく。					

■施策⑬ 生活基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
重要業績 評価指標 (KPI)	市営住宅の改修戸数(戸)	単年 10	延べ 15	○	A	延べ 40
	《成果と見直し》 計画どおり改修を実施することができた。 今後も、計画どおり事業を進めていく。※単年実績は減少しているが、計画どおり進捗している。					
	インターネットの加入率(%)	35.7	41.2	○	A	44.6
《成果と見直し》 順調に上昇している。 引き続き、加入率の上昇に向けた啓発に取り組む。						

■施策⑭ 生活交通の確保

重要業績 評価指標 (KPI)	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
	航路利用者の前年比減少率 (%)	△4.2	△4.3	×	B	△3.5
	《成果と見直し》 人口減少等の影響により、若干悪化した。 今後は、海上交通と陸上交通との連携や陸上交通の見直しなどを実施し、適切な地域公共交通へ再編することで、目標値達成を目指す。					
	路線バスの年間利用者数 (万人)	70	48	×	B	70
	《成果と見直し》 人口減少等の影響により、大幅に減少した。 今後は、海上交通と陸上交通との連携や陸上交通の見直しなどを実施し、適切な地域公共交通へ再編することで、目標値達成を目指す。					

■施策⑮ コミュニティの振興

重要業績 評価指標 (KPI)	指 標 名	現状値 (H26)	H27			目標値 (H31)
			実績	改善・ 悪化	達成度	
	まちづくり協議会の設置数 (協議会)	8	9	○	A	14
	《成果と見直し》 新たに、1 協議会を設置することができた。 当該協議会の設置促進に向け、引き続き、地域に出向いての説明に加え、活動内容の充実を図っていく。					
	地域提案型活動支援補助金の申請数 (件)	単年 3	延べ 12	○	A	延べ 39
	《成果と見直し》 当初の見込みを上回る申請があったことから、地域の活動意欲の向上に寄与するなど、一定の成果が認められた。 引き続き、制度の周知に努め、地域の活動意欲の向上を促していく。					